

令和2年3月
京都市立宇多野小学校
校長 和田 夕美子

令和元年度 後期学校評価アンケート結果のご報告

後期学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。児童数475名（アンケート実施当時）に対して、保護者の回答数が457件（回収率約96%）だった結果から、保護者の皆様の学校に対する関心の高さが伺えます。

今回もアンケート実施と同時に、児童と教職員にもアンケートを実施しました。それらの結果を報告させていただきます。

1. 「確かな学力」の育成に向けて 『学力向上プラン』

重点目標 学ぼうとする意欲や生涯にわたって学び続ける力を身につける。

学校評価アンケート結果（出来ている割合を表示）

- ①授業はわかりやすいですか。 児童 95.8% 保護者 89.3% 教職員 80.0%
- ②授業で話し合うことは楽しいですか。 児童 89.3% 保護者 85.0% 教職員 84.0%
- ③授業で「めあて」を確かめ、「振り返り」を行っていますか。
児童 95.7% 保護者 80.7% 教職員 92.0%
- ④自分から進んで家庭学習をしていますか。 児童 73.1% 保護者 59.1% 教職員 56.0%
- ⑤学習ノートを見やすく書いていますか。 児童 85.5% 保護者 75.8% 教職員 68.0%
- ⑥学習に図書や資料を使っていますか。 児童 82.0% 保護者 53.7% 教職員 72.0%

分析（成果と課題）

⑤の保護者の指数が前期より6.4%上がりました。ノート検定を定期的に実施していることで、児童が見やすいノート作りをより意識するようになったと考えられます。また、教員自身が授業する際にも意識していることが考えられます。

家庭学習については、今回も児童の指数が70%前半にとどまっていることから、次年度の課題に挙げられます。本校が年度初めに配布している「自主学習のススメ」の中身をもう一度見直すことで、「興味をもって考え続ける力」を育てるこことに繋げていきたいです。

分析を踏まえた取組の改善

「直しはその日のうちに」「読書ノートは冊数だけでなく、分野の偏りがないかのチェック機能としても使用する」「常時国語辞典を横に置いておく」「文を書く際には段落や字数を意識する」「児童が苦手な領域や単元にしほったプリントを繰り返しおこなう」等、学力向上につながる手立てを次の学年に確実に引継ぎ、実行していきます。

2. 「豊かな心」の育成に向けて

重点目標 道徳教育の充実や規範意識の育成を図り、支えあい高め合う集団づくり・絆づくりの推進

学校評価アンケート結果（出来ている割合を表示）

- ①周りの人から、大切にされていますか。 児童 93.7% 保護者 99.8% 教職員 96.0%
- ②地域の行事に進んで参加していますか。 児童 78.1% 保護者 75.6% 教職員 72.0%
- ③学校のきまりや社会のルールを守っていますか。 児童 95.5% 保護者 96.4% 教職員 92.0%
- ④自分からあいさつができますか。 児童 88.2% 保護者 70.9% 教職員 48.0%
- ⑤読書の習慣が身についていますか。 児童 82.9% 保護者 54.2% 教職員 68.0%
- ⑥他の人を思いやり、親切にすることができますか。 児童 95.3% 保護者 95.7% 教職員 100%
- ⑦ものを大切にしていますか。 児童 94.7% 保護者 68.5% 教職員 64.0%

分析（成果と課題）

④については前期より保護者の指指数が4.7%，教職員の指指数が16.0%下がりました。⑤については、前期より保護者の指指数が5.8%，教職員の指指数が16.0%下がりました。

分析を踏まえた取組の改善

「自ら進んであいさつのできる子ども」を育てていくには、今後も学校・家庭・地域が一体となることが大切であり、人権教育の第一歩につながることを意識して取り組んでいきたいです。また、読書ノートを冊数だけでなく、分野の偏りがないかのチェック機能としても使用する等、子どもが様々な分野の本に興味をもてるような工夫をしていきたいです。今後も学校での取組をホームページや学校だより、授業参観・懇談会などを通してわかりやすく家庭や地域にお知らせしていきたいです。

3. 「健やかな体」の育成に向けて

重点目標 運動やスポーツの実践と体力の向上、健康的な生活を送る子の育成

学校評価アンケート結果（出来ている割合を表示）

- ①睡眠時間が8時間以上とれていますか。 児童 87.5% 保護者 87.2% 教職員 56.0%
- ②毎日朝ごはんを食べていますか。 児童 96.6% 保護者 98.7% 教職員 92.0%
- ③安全に集団登校できていますか。 児童 95.0% 保護者 93.9% 教職員 76.0%
- ④安全に下校できていますか。 児童 95.9% 保護者 94.6% 教職員 64.0%
- ⑤外遊びやスポーツなどで毎日体を動かしていますか。 児童 85.6% 保護者 72.4% 教職員 76.0%
- ⑥テレビを見たり、ゲームをしたりする時間を決めていますか。 児童 76.2% 保護者 59.8% 教職員 40.0%

分析（成果と課題）

全体的に前期と比べてあまり変化はありませんでしたが、①については前期より保護者の指指数が5.1%下がりました。今年度も運動やスポーツの実践と体力の向上には、たてわり遊びや業間マラソン、委員会の取組などで概ね達成できている状況にあると考えられます。しかし、健康的な生活習慣をおくことについては課題があるので、家庭への協力を発信し続けていきたいです。

分析を踏まえた取組の改善

家庭での取組が第一です。保健の授業や保健だよりを通して、睡眠の大切さを伝える等、基本的な生活習慣が子どもたちに身につくような働きかけを次年度も行っていきます。